

◇ 第30回健康食品講座 研修会報告 ◇

日 時	2019年10月6日(日) 10:00～15:35
場 所	神戸薬科大学地域サテライトセンター
テーマ	健康食品と食生活・健康管理2(大項目Ⅱ)
受講資格	現役の薬剤師
受講者数	96名(本学学生38名含む)

【研修風景】

10:00～11:30 演題Ⅰ 「大学での基礎研究をもとにした
特定保健用食品/機能性表示食品素材の開発」

講師 近畿大学 薬学総合研究所
教授 森川 敏生 先生



近畿大学 薬学総合研究所
教授 森川 敏生 先生による講義



12:20～13:50 演題Ⅱ 「希少糖D-アルロースによるGLP-1シグナリングと
肥満・糖尿病の改善」

講師 関西電力医学研究所統合生理学センター
統合生理学研究部
センター長／部長 矢田 俊彦 先生



関西電力医学研究所統合生理学センター
統合生理学研究部
センター長／部長 矢田 俊彦 先生による講義

14:05～15:35 演題Ⅲ 「今、薬剤師に知ってほしい
腸内フローラ・腸脳相関の最前線」

講師 京都府立医科大学 大学院医学研究科
消化器内科学教室
准教授 内藤 裕二 先生



京都府立医科大学 大学院医学研究科
消化器内科学教室
准教授 内藤 裕二 先生による講義

アンケート(抜粋)

- ・毎回とても勉強になっており有り難いです。企業にて最前線でご活躍されている講師の先生は勿論のこと、本日のような大学での先生の教えも旬な内容でとてもすんなり頭に入ってくる気がしました。森川先生のご講演はなかでも聞きやすいテンポと、わかりやすいスライドで理解が深まり、薬学部ご出身の先生ならではの共感好感を覚えました。希少糖の矢田先生のお話も、次から次へ繰り出される研究の思考の仕方についてよくわかりました。
- ・どの講義も大変興味深く、わかりやすい講義でした。又、参加したいです。特に内藤先生の講義がとても良かった。
- ・生活習慣予防でサラシアを食べると血糖値の上昇がおだやかだと分かって良かった。知らない事が多く、とても勉強になりました。腸内細菌が寿命に影響することなど多くの事がわかり、とても楽しかったです。
- ・3題ともとても興味を持ってました。医療のこれからを考えさせられました。

etc



受講いただきありがとうございました。

